

PRESS INFORMATION

2015年11月2日

株式会社日本レースプロモーション

11月7日(土)～8日(日)
2015年全日本選手権スーパーフォーミュラ最終戦
第14回 JAF 鈴鹿グランプリ
選手権概要
ーシリーズ最終戦、チャンピオンを獲得するのは誰かー

株式会社日本レースプロモーション(代表取締役社長 白井 裕、所在地:東京都千代田区)は、11月7日(土)～8日(日)の2日間、三重県鈴鹿市 鈴鹿サーキット国際レーシングコース(1周:5.807km)で開催される「2015年全日本選手権スーパーフォーミュラ最終戦 第14回JAF鈴鹿グランプリ」について選手権概要を発表します。

2015年全日本選手権スーパーフォーミュラシリーズは、全7戦、日本全国6カ所のサーキットを11チーム(エントリー)、国内外の19名(19台)のドライバー(※1)が転戦しチャンピオンが争われる、アジア地域唯一の国際格式選手権シリーズです。

(※1)ドライバー:国内:12名、海外:6カ国(イギリス、ドイツ、イタリア、ベルギー、ブラジル、インド)、7名

シリーズ最終戦となる本大会は、昨年に引き続き、JAFグランプリ(※2)として開催されるため、「2015年全日本選手権スーパーフォーミュラシリーズ最終戦 第14回JAF鈴鹿グランプリ」の大会名称で実施いたします。また、本大会はRace1、Race2の2レース制で行なわれ、Race1は鈴鹿サーキット国際レーシングコース(1周5.807m)を20周、トータル116.140kmにて争われ、Race2は、同コースを28周、トータル162.596kmにて争われます。(※3)

(※2)詳しくは、P4【ご参考】9.第14回JAF鈴鹿グランプリ/JAFグランプリ について 欄をご参照ください。

(※3)詳しくは、P3【ご参考】7.決勝レース 欄をご参照ください。

前戦スポーツランドSUGO大会にて、ペトロナス・チーム・トムスの年間チームチャンピオンが確定し、ドライバーズ・ポイントのチャンピオン争いは、4人のドライバーに絞られました。前戦終了時点での各ドライバーのポイント獲得数は、石浦宏明(プロムュー/セルモ・インギング)が45ポイントでトップ。欠場したレース以外優勝か2位という結果を残し、39ポイントを獲得しているディフェンディングチャンピオン、中嶋一貴(ペトロナス・チーム・トムス)が2位。開幕戦で鈴鹿サーキットを制しているアンドレ・ロッテラー(ペトロナス・チーム・トムス)が31ポイントで3位。今シーズン全てのレースでポイントを獲得しているジョアオ・パオロ・デ・オリベイラ(レノボ チーム インパル)がアンドレ・ロッテラーと同ポイントの31ポイントで4位と、14ポイント差の中でしのぎを削っています。この最終戦、最大18ポイントを獲得できる可能性を持つ4人の優勝争いに注目が集まります。



ドライバーズポイント45ポイントでランキング 1 位のプロムュー/セルモ・インギング #38 石浦 宏明

Series Partner

HONDA TOYOTA

Series Supporter

BRIDGESTONE

Promotion Partner

HITACHI
Inspire the Next
日立オートモティブシステムズ

J SPORTS

セディナ

八 NINKI-ICHI
人気酒造

【ご参考】

1. スーパーフォーミュラとは？

全日本選手権スーパーフォーミュラシリーズは、純然たるレーシングマシンであるオープン・シングルシーターのフォーミュラカーによって競われる国内最高峰の自動車レースです。一般社団法人日本自動車連盟(JAF)が公認し、株式会社日本レースプロモーションのプロモートにより、1996年にフォーミュラ・ニッポンとしてスタート。2013年より名称をスーパーフォーミュラに変更し現在に至っています。

2. チャンピオンシップ

2015年全日本選手権スーパーフォーミュラシリーズは、11チーム(エントラント)、国内外の19名(19台)(海外6国、7名:イギリス、ドイツ、イタリア、ベルギー、ブラジル、インド)のドライバーで争われており、各レースの成績に応じてドライバーとチームにポイントが付与され、ポイント合計の多い順に年間シリーズ順位が決定いたします。

2015年シリーズ選手権 ポイントシステム

順位	優勝	2位	3位	4位	5位	6位	7位	8位	9位以下	pp
1大会1レース	10	8	6	5	4	3	2	1	0	1
1大会2レース	5	4	3	2.5	2	1.5	1	0.5	0	1

*P. P. :ポールポジション(予選1位)には、ドライバーにのみ1ポイントが与えられる。チームポイントには加算されない。

*1大会2レース制の場合、レース1、レース2共に1レース制の得点の半分が与えられる。

*1大会2レース制の場合、最終戦に限りレース1、レース2の勝者には通算ポイント別に3ポイントが与えられる。これによりポールポジション+2連勝で最大18ポイントが与えられる。

*最終戦終了時点で、複数のドライバーまたはチーム(エントラント)が同一ポイントを獲得している場合は、高得点を得た回数が多い順に順位を決定する。

3. シリーズ賞典

シリーズ賞典は、年間チャンピオンドライバーには、株式会社日本レースプロモーションよりシリーズドライバーズチャンピオンカップと賞金が授与されるほか、自由民主党モータースポーツ振興議員連盟より同連盟杯が贈られ、観光庁より観光庁長官杯が交付されます。また年間チャンピオンチームには経済産業省より経済産業大臣杯が交付され、株式会社日本レースプロモーションより賞金が授与されます。

4. レース車両

シャシーはダラーラ社(イタリア)製のSF14。エンジンはホンダとトヨタが供給する、排気量2,000cc、直列4気筒ダイレクトインジェクション、Honda HR-414EまたはTOYOTA RI4Aを使用しています。タイヤはすべてブリヂストン製のワンメイクです。SF14は、世界最高峰のフォーミュラ1マシンと同等のコーナリングスピードで、国内外トップドライバーにより白熱したドライビングバトルが繰り広げられています。

5. オーバーテイクシステム

エンジンに燃料リストリクター(燃料流量規制システム)を活用し、燃料供給量を一時的に上げ、通常時の約110%のパワー(約30馬力)(※1)を発生させることによりオーバーテイクをより促すシステムです。ステアリングにあるボタンを操作し、1回のレースにつき原則5回、各20秒間使用可能となります。使用中はドライバーのヘルメット後方にあるランプ(オーバーテイクランプ=OTL)が点滅し、観客からも視認できます。またポイントリーダードライバーは、赤色オーバーテイクランプ(リーダーズレッド)を装着しています。尚、このシステムは、スーパーフォーミュラ独自の仕組みです。

(※1)オーバーテイクシステムのパワーの上がり方は、レースによって設定が異なり、富士と鈴鹿大会は約105%、その他大会は約110%となります。

6. 公式予選 -ノックアウト方式-

公式予選はノックアウト方式(※2)で行われます。予選時間を3つに分け、短いアタック時間の中、好タイムが出なければ文字どおりノックアウト(脱落)されることから、この呼称となりました。Q1でベスト14位に、Q2でベスト8位に無理なく勝ち残り、Q3でベストタイムを記録して上位につけるといった流れが通常の子選運びとなりますが、今大会では、Race1の予選はQ1の結果で全19台のグリッドが決定されます。Race2の予選は、上記の方法で行いQ3の結果でグリッドが決定されます。Q1の順位がそのままRace1のグリッドとなるため、開始直後から熾烈なタイムアタック合戦となる事が予想されます。

(※2)19台エントリーの場合:Q1(20分間)で15位から19位までのスタート位置を決定。10分間のインターバルの後、Q2(7分間)を行い9位から14位までのスタート位置を決定します。さらに10分間のインターバルの後、Q3(7分間)を行い、1-8位までの決勝レーススタート位置を決定します。

7. 決勝レース

Race1、Race2の2レース制で行なわれます。

Race1は、鈴鹿サーキット国際レーシングコース(1周5, 807m)を20周、トータル116. 140kmにて争われます。

Race2は、同レーシングコースを28周、トータル162. 596kmにて争われます。また、レース中タイヤ交換(4輪同時)のピットインが、1回義務付けられています。

2015年全日本選手権スーパーフォーミュラシリーズ開催スケジュール

日程	ラウンド/サーキット	予選方式	決勝レース方式
4/ 18~19	第1戦/鈴鹿サーキット	ノックアウト	250km
5/ 23~24	第2戦/岡山国際サーキット	ノックアウト	250km
7/ 18~19	第3戦/富士スピードウェイ	ノックアウト	250km
8/ 22~23	第4戦/ツインリンクもてぎ	ノックアウト	250km
9/ 12~13	第5戦/オートポリス	ノックアウト	250km
10/ 17~18	第6戦/スポーツランドSUGO	ノックアウト	250km
11/ 7~ 8	第7戦/鈴鹿サーキット	ノックアウト	2レース制

8. 鈴鹿サーキット国際レーシングコースについて

コースは東西に細長く、中間部分の立体交差を挟んで右回りと左回りが入れ替わる、世界的にも珍しい8の字形のレイアウトとなっている。コース全長は5. 807kmで、日本のサーキットの中で最長です。コース幅は10-16m。コーナー数は20。最大高低差は52m。世界の多くのサーキットと比べ摩擦係数の高いアスファルト舗装です。土地の高低差と低速~高速コーナーのバランスが上手く配合されており、難易度が高く走り甲斐のあるコースとして評価されています。

SUPER
FORMULAJapan race promotion
Inc.

9. 第14回JAF 鈴鹿グランプリ / JAF グランプリ について

今大会は、昨年に引き続き一般社団法人日本自動車連盟より、「JAFグランプリ」としてのタイトルが掛けられています。

JAFグランプリは、1973年に最高峰であったF2000が全日本選手権となり、翌1974年鈴鹿サーキットでJAFグランプリとして開催され

たことから始まります。その後、JAF鈴鹿グランプリとして10回の開催を数え、現在スーパーフォーミュラでチーム監督を務める星野一義氏や中嶋悟氏らがビッグタイトルを獲得しました。海外からの有力選手も参加して、いくつもの名勝負が繰り広げられてきました。その伝統の大会が、昨年28年ぶりに鈴鹿サーキットに復活しました。今年は「第14回JAF鈴鹿グランプリ」として開催いたします。

大会数	年度	決勝日	大会名	カテゴリー	優勝者	優勝車名
1	1974	11月2日	JAFグランプリ自動車レース	F2000	高原敬武	マーチ742・BMW
2	1975	11月1日	JAFグランプリレース	F2000	星野一義	マーチ742・BMW
3	1977	11月5日	JAF鈴鹿グランプリ自動車レース	F2000	R・バトラーゼ	シェブロンB42・BMW
4	1978	11月5日	JAF鈴鹿グランプリ自動車レース	F2	高橋国光	コジマ008・BMW
5	1979	11月4日	JAF鈴鹿グランプリ自動車レース	F2	星野一義	マーチ792・BMW
6	1980	11月3日	JAF鈴鹿グランプリ自動車レース	F2	星野一義	マーチ802・BMW
7	1981	11月1日	JAF鈴鹿グランプリ自動車レース	F2	中嶋悟	マーチ812・Honda
8	1982	11月7日	JAF鈴鹿グランプリ自動車レース	F2	中嶋悟	マーチ822・Honda
9	1983	11月6日	JAF鈴鹿グランプリ自動車レース	F2	G・リース	マーチ832・Honda
10	1984	11月4日	JAF鈴鹿グランプリ自動車レース	F2	中嶋悟	マーチ842・Honda
11	1985	11月3日	JAF鈴鹿グランプリ自動車レース	F2	中嶋悟	マーチ85J・Honda
12	1986	11月2日	JAF鈴鹿グランプリ自動車レース	F2	星野一義	マーチ86J・Honda
13	2014	11月9日	2014スーパーフォーミュラ第7戦 第13回JAF鈴鹿グランプリ	スーパーフォーミュラ		

Series Partner

HONDA TOYOTA

Series Supporter

BRIDGESTONE

Promotion Partner

HITACHI
Inspire the Next
日立オートモティブシステムズ

J SPORTS

セディナ

NINKI-ICHI
人気酒造

2015年全日本選手権スーパーフォーミュラ最終戦 第14回JAF 鈴鹿グランプリ エントリーリスト

(シャシー:SF14、タイヤ:ブリヂストン)

No.	ドライバー	生年月日 出身地	チーム 監督	エンジン
1	中嶋 一貴 Kazuki Nakajima	1985.1.11 日本 愛知県	PETRONAS TEAM TOM'S (ペトロナス・チーム・トムス) 舘 信秀	TOYOTA R14A
2	アンドレ・ロッテラー Andre Lotterer	1981.11.19 ドイツ		
3	ジェームス・ロシター James Rossiter	1983.8.25 イギリス	KONDO RACING (コンドー レーシング) 近藤 真彦	TOYOTA R14A
4	ウィリアム・ブラー William Buller	1992.9.17 イギリス		
7	平川 亮 Ryo Hirakawa	1994.3.7 日本 広島県	KYGNUS SUNOCO Team LeMans (キグナス スノコ チーム ルマン) 土沼 広芳	TOYOTA R14A
8	小林 可夢偉 Kamui Kobayashi	1986.9.13 日本 兵庫県		
10	塚越 広大 Koudai Tsukakoshi	1986.11.20 日本 栃木県	REAL RACING (リアル レーシング) 金石 勝智	Honda HR-414E
11	伊沢 拓也 Takuya Izawa	1984.6.1 日本 東京都		
16	山本 尚貴 Naoki Yamamoto	1988.7.11 日本 栃木県	TEAM 無限 (チーム ムゲン) 手塚 長孝	Honda HR-414E
18	中山 雄一 Yuichi Nakayama	1991.7.25 日本 東京都	KCMG (ケーシーエムジー) 土居 隆二	TOYOTA R14A
19	ジョアオ・パオロ・デ・オリベイラ Joao Paulo de Oliveira	1981.7.13 ブラジル	LENOVO TEAM IMPUL (レノボ チーム インパル) 星野 一義	TOYOTA R14A
20	アンドレア・カルダレッリ Andrea Caldarelli	1990.2.14 イタリア		
34	小暮 卓史 Takashi Kogure	1980.8.1 日本 群馬県	DRAGO CORSE (ドラゴ コルセ) 道上 龍	Honda HR-414E
38	石浦 宏明 Hiroaki Ishiura	1981.4.23 日本 東京都	P.MU/CERUMO-INGING (プロミュー/セルモ・インギング) 立川 祐路	TOYOTA R14A
39	国本 雄資 Yuji Kunimoto	1990.9.12 日本 神奈川県		
40	野尻 智紀 Tomoki Nojiri	1989.9.15 日本 茨城県	DOCOMO TEAM DANDELION RACING (ドコモ チーム ダンディライオンレーシング) 村岡 潔	Honda HR-414E
41	ナレイン・カーティケヤン Narain Karthikeyan	1977.1.14 インド		
64	中嶋 大祐 Daisuke Nakajima	1989.1.29 日本/愛知県	NAKAJIMA RACING (ナカジマレーシング) 中嶋 悟	Honda HR-414E
65	ベルトラン・バゲット Bertrand Baguette	1986.2.23 ベルギー		

2015年全日本選手権スーパーフォーミュラシリーズ シリーズポイントランキング

ドライバーズ・ポイントランキング

Po.	No.	Driver	Points	Gap	4/19	5/24	7/19	8/23	9/13	10/18	11/8	
					SUZUKA	OKAYAMA	FUJI	MOTEGI	AUTOPOLIS	SUGO	SUZUKA	SUZUKA
					Rd.1	Rd.2	Rd.3	Rd.4	Rd.5	Rd.6	Rd.7-1	Rd.7-2
1	38	石浦宏明	45		4	11	6	11	9	4		
2	1	中嶋一貴	39	-6	8	—	8	8	10	5		
3	2	A.ロツテラー	31	-14	10	1	4	5	0	11		
4	19	J.P.デ・オリベイラ	31	-14	5	4	10	6	4	2		
5	8	小林可夢偉	17	-28	0	8	0	0	6	3		
6	16	山本尚貴	17	-28	1	5	0	1	2	8		
7	40	野尻智紀	17	-28	1	6	1	3	0	6		
8	7	平川亮	11	-34	0	0	3	2	5	1		
9	64	中嶋大祐	7	-38	3	0	0	4	0	0		
10	41	N.カーティケヤン	6	-39	6	0	0	0	0	0		
11	39	国本雄資	6	-39	0	0	5	0	1	0		
12	3	J.ロシター	5	-40	0	0	2	0	3	0		
13	20	A.カルダレッリ	4	-41	0	3	1	0	0	0		
14	11	伊沢拓也	4	-41	2	2	0	0	0	0		
15	10	塚越広大	0	-45	0	0	0	0	0	0		
16	18	中山雄一	0	-45	0	0	0	0	0	0		
17	34	小暮卓史	0	-45	0	0	0	0	0	0		
18	4	W.ブラー	0	-45	0	0	0	0	0	0		
19	65	B.バケット	0	-45	0	0	0	0	0	0		
20	1	大嶋和也	0	-45	—	0	—	—	—	—		

※太字は優勝、下線はP.P.

全戦が有効

チーム・ポイントランキング

Po.	No.	Team	Points	Gap	4/19	5/24	7/19	8/23	9/13	10/18	11/8	
					SUZUKA	OKAYAMA	FUJI	MOTEGI	AUTOPOLIS	SUGO	SUZUKA	SUZUKA
					Rd.1	Rd.2	Rd.3	Rd.4	Rd.5	Rd.6	Rd.7-1	Rd.7-2
1	1,2	PETRONAS TEAM TOM'S	69		18	1	12	13	10	15		
2	38,39	P.MU/CERUMO-INGING	48	-21	4	10	11	10	9	4		
3	19,20	LENOVO TEAM IMPUL	34	-35	5	7	10	6	4	2		
4	7,8	KYGNUS SUNOCO Team LeMans	28	-41	0	8	3	2	11	4		
5	40,41	DOCOMO TEAM DANDELION RACING	23	-46	7	6	1	3	0	6		
6	16	TEAM 無限	16	-53	0	5	0	1	2	8		
7	64,65	NAKAJIMA RACING	7	-62	3	0	0	4	0	0		
8	3,4	KONDO RACING	5	-64	0	0	2	0	3	0		
9	10,11	REAL RACING	4	-65	2	2	0	0	0	0		
10	18	KCMG	0	-69	0	0	0	0	0	0		
11	34	DRAGO CORSE	0	-69	0	0	0	0	0	0		

全戦が有効

■選手権ポイント	順位	順位								
		Rd.	1	2	3	4	5	6	7	8
予選	1-7	1								
	1-6	10	8	6	5	4	3	2	1	
レース	7	5	4	3	2.5	2	1.5	1	0.5	
	7	3								

☆ドライバーズポイント

全戦の予選と決勝レースのポイントを合計する。最終戦鈴鹿に限り、第1・第2レースの勝者には通常ポイントとは別に3ポイントが与えられる。

☆チームポイント

各チームに所属するドライバーの決勝ポイントを合計。以上の車両が所属する場合は、上位2台分を合計。ポイントには、予選のポイントは与えられない。※複数のドライバーまたはチームが同ポイントの場合、会の高得点を得た回数が多い順に順位を決定する。

—開催概要—

- 大会名称 : 2015年全日本選手権スーパーフォーミュラ最終戦
第14回JAF鈴鹿グランプリ
- 開催日程 : 2015年11月7日(土) 公式予選
2015年11月8日(日) 決勝レース[2レース制]
- オーガナイザー: 名古屋レーシングクラブ (NRC)
鈴鹿モータースポーツクラブ (SMSC)
株式会社モビリティランド
- 公認 : 国際自動車連盟(FIA)
一般社団法人日本自動車連盟(JAF)
- 認定 : 株式会社日本レースプロモーション(JRP)
- 後援 : 三重県/鈴鹿市/鈴鹿F1日本グランプリ地域活性化協議会/一般社団法人 鈴鹿市観光協会/
鈴鹿商工会議所/東京中日スポーツ/中日スポーツ/中日新聞社

【TV放映予定】

Series Partner

HONDA TOYOTA

Series Supporter

BRIDGESTONE

Promotion Partner

HITACHI
Inspire the Next
日立オートモティブシステムズ

J SPORTS

セディナ

三 NINKI-ICHI
人気酒造



■ J SPORTS

全7戦の予選と決勝の様様をライブ中継。その他、再放送やレースダイジェスト番組も放送

- ・予選放送: 11月7日(土)13:00~15:00 J SPORTS 4 (予定)
- ・決勝放送(本放送): 11月8日(日)
 - レース1 9:45~11:30 J SPORTS 3
 - レース2 14:30~17:00 J SPORTS 3
- ・再放送: 11月10日(月)19:00~22:30 J SPORTS 3 決勝再放送
 - ※他にも再放送有り。
- ・ダイジェスト: 11月19日(木)25:15~25:30 J SPORTS 3 決勝ダイジェスト
 - ※他にも再放送有り。

■ BSフジ

全7戦のレースハイライトとドライバー・チームに焦点をあてたミニドキュメンタリー番組「スーパーフォーミュラ Go On!」を放送。

- ・初回放送: 2015年11月13日(金)24:00~24:55
- ・再放送: 2015年11月27日(金)24:25~25:20(予定)

■ フジテレビCS放送「フジテレビNEXTライブ・プレミアム」

全7戦のレースハイライトと、参戦ドライバーをゲストに迎えて、スーパーフォーミュラの魅力や、ドライバーの本音などを楽しくお届けするスタジオトーク番組「スーパーフォーミュラTV」を放送。インターネット有料チャンネル「フジテレビNEXTsmart」でも同時配信

- ・初回放送: 2015年11月13日(金)22:40~23:10
- ・再放送: 2015年11月15日(日)12:00~12:30

※詳しい放送スケジュールについては、各番組オフィシャルウェブサイト、もしくは「スーパーフォーミュラ オフィシャルウェブサイト」(<http://www.superformula.net/>)でご確認ください。

○映像の配信

■ GYAO!

大会終了10日後よりスーパーフォーミュラの決勝レースを全戦オンデマンドにて無料配信。

配信映像は無料動画ステーションGYAO!オフィシャルページ(<http://gyao.yahoo.co.jp/p/00830/v09524/>)から視聴可能です。

※配信日時は変更となる場合があります。

■ YouTube

予選ならびに決勝の競技映像をダイジェスト版にて当日夜配信。

※配信日時は変更となる場合があります。

詳しくは予選ならびに決勝日の夜、「スーパーフォーミュラ オフィシャルウェブサイト」(<http://www.superformula.net/>)でご確認ください。

Series Partner

HONDA TOYOTA

Series Supporter

BRIDGESTONE

Promotion Partner

HITACHI
Inspire the Next
日立オートモティブシステムズ

J SPORTS

セディナ

三 人気酒造
NINKI-ICHI

【チケット情報】

●前売観戦券(2日間有効)

大人1名:4,000円/中学生:1,700円/小学生:800円/3歳～未就学児:600円

●前売観戦券(2日間有効) + モートピアパスポート1日付

大人:4,000円/中学生:4,000円/小学生:3,100円/3歳～未就学児:2,000円

●JAF 会員限定 前売特別料金(2日間有効) + モートピアパスポート1日付

大人:2,800円/中学生:2,800円/小学生:1,550円/3歳～未就学児:1,000円

●パドックパス

中学生以上:6,200円/3歳～小学生:1,600円

※別途観戦券が必要

●ピットウォーク券

中学生以上:2,100円(各日)/3歳～小学生:無料

※別途観戦券が必要

レースチケットのご案内(<https://mls.mobilityland.co.jp/onlineshop/Default.aspx>)をご参照ください。

*この件に関するお問い合わせは、下記までお願いいたします。
株式会社日本レースプロモーション(<http://www.superformula.net/>)
102-0074東京都千代田区九段南2-3-25 平安堂ビル
e-mail:media@superformula.net
Tel:03-3237-0131 Fax:03-3237-0135
広報担当:中野 聖二 携帯電話:090-7203-1623
e-mail:media@jrp-inc.net